

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さくら草学園（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	2024年10月11日		～ 2024年11月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	2024年10月11日		～ 2024年11月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○訪問先施設評価実施期間	2024年10月11日		～ 2024年11月1日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者)	14園	(回答数) 10園
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援事業のフォローグループを利用している利用児が訪問支援事業も利用しており、小集団での活動の様子を知った上で、訪問することができている。	今年度、訪問支援員ではない、フォローグループの担任が訪問支援に同行し、利用児の様子及び訪問支援の実施方法を伝達した。	今後も、訪問支援以外の職員が訪問に同行できるようにすることで、お子さんの状況の把握を進めるとともに、訪問支援の実際の実施状況を知る職員を増やし、人材の育成につなげていく。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員がそれぞれ、今まで培ってきた経験や知識の中で支援を行っている。	訪問支援は1人で行うことがほとんどであり、利用者のニーズもそれぞれであるため、それぞれが考え支援している状況がある。	訪問支援員で支援会議を行い、どのような場面でアドバイスを求められることが多いか等、訪問先施設からの質問をピックアップし、回答の案やバリエーションを話し合い、施設に返していくことができるようにする。 統一して使用できる、教具やアセスメント等も準備していく。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 さくら草学園（保育所等訪問支援）

公表日 令和7年 2月 1日

利用児童数 17名

回収数 12

	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	5	1	0	6		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	12	0	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	11	1	0	0	保育所との連携も良くしてくれて説明も十分にしてくれる。	ご意見ありがとうございます。今後も、訪問先の施設と連携して支援をさせていただき、保護者の方にしっかりと共有させていただきたいと思います。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	12	0	0	0	同上	
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	10	1	0	1		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	11	0	0	1	こちらの意見や保育所の先生の先生方、本人の行動など、良く聞いて良く見てくれる。双方に対してのアドバイスもありとても満足している。	ご意見ありがとうございます。保護者の方のご意見と訪問先の施設の先生方のご相談をしっかりと受け、専門的な視点を持って、支援できるようにしていきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	11	1	0	0	同上	
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	9	2	0	1		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	12	0	0	0		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	12	0	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	10	1	0	0		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	10	1	0	1		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	10	2	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1	0	0	こちらの気持ちに寄り添った支援や助言に助けられている。	ご意見ありがとうございます。今後もご利用いただいている、利用者様や保護者様の思いを大切に支援させていただきたいと思えます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	12	0	0	0	同上	
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1	0	1		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	10	1	0	1		
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	11	0	0	1			

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	11	0	0	1		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	12	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1	1	2		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1	0	1		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	6	0	0	6		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	0	2	0		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	11	0	1	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	12	0	0	0		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和7年 2月 1日

さくら草学園（保育所等訪問支援）

利用児童数

14園

回収数 10園

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	10	0	0	保育や関わり方に取り入れていきたいと思いました。 具体的なアドバイスを頂けるので、保育に取り入れやすいです。	ご意見ありがとうございます。今後もわかりやすい助言、説明に努めて参ります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	9	1	0	新たな気づき、知識を頂けるのでありがたいです。	ご意見ありがとうございます。今後も知識・技術の研鑽に努めて参ります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	9	1	0	聞いたことに丁寧に答えて頂きました。 適確なアドバイスを下さるので、新たな気づきがあったりと考えを深める事ができます。	ご意見ありがとうございます。頂いた質問に対して、適切なタイミングで適確な助言をさせていただけるようにしていきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	9	0	1	様子を知り、実践することでうまくいくこともあればいけないこともあったが、参考になった。 お話をきいて少し安心しました。 課題も少しずつ良くなっているように思います。	ご意見ありがとうございます。訪問先の先生方のお困りな点を一緒に考えさせて頂きたいと思えます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	9	1	0	一緒に考えて頂けて良かったです。 幼稚園だけではなく、他の施設さんも子どもたちを見守って下さっているのは心強いです。	ご意見ありがとうございます。今後も訪問支援を保護者の方が利用して良かったと思っていだくとともに、訪問先の施設の先生方にもご満足いただけるように努めて参ります。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
保護者のケア、子どもの様子の伝え方など、難しいことがある。 対象児についての関わり方を相談したり、褒めていただいたりし、今後の保育の確認ができた。 本児についての理解が深まったので保育に生かしていきたい。 次回はこどもの関わりについての配慮やご意見を頂けたらと思います。 訪問して頂いて細かく丁寧に見ていただき、私たちに理解できるように説明いただいています。 どのように対応してあげたらいいか、分かりやすいため、職員もやってみようという気になり、助かっています。					ご意見ありがとうございます。訪問に何ったあと、毎回、対面及び電話でお子さんの状況を共有したり、園での困り事等と一緒に話をさせていただくカンファレンスを実施しています。その場で、保護者のケアや子どもの様子の伝え方など、先生方の必要とされていること、事業所が求められていることをお答えできるように努め、ご質問やご意見を出しやすいカンファレンスを実施していきたいと思えます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
さくら草学園(保育所等訪問支援事業)		令和7年 2月 1日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 制 運 営 ・ 体	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1	3	姿勢保持のための椅子に付ける段ボールの作り方を紹介している。 今後、保護者のニーズや園の方針に合わせて食具や姿勢保持のための補助具のサンプルを用意しておくと思う。	事前に教具として何が訪問先の園に提案できるか話し合い、リストアップしていく。	
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	一人の職員の負担が大きく偏りがあるので分散していけるよう実施していく。 三人体制。意見交換ができて良い。	利用希望者を積極的に募集・受け入れをしていくと、体制的に難しくなってくると思われるため、利用者獲得と職員配置は課題になってくる。	
業 務 改 善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1			
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2	今回は初のため。	次年度以降、業務改善につなげていく。	
	5 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0			
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1			
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0			
適 切 な 支 援 の 提 供	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	0			
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0			
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	1	保護者のニーズ。	訪問時のカンファレンスの時に、訪問先の施設の意向を聞き、盛り込んでいく。	
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	標準化されたツールについては要検討と思う。 フォーマルなアセスメントを持っていない。	他の事業所等はどうのようなアセスメントを使用しているのか、確認し取り入れていく。	
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0			
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	気になることは事前に聞き取りを行っている。(職員間)		
17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4	0				
18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4	0				

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの実施の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	保健センターとの連携がより必要と思う。	保育所等訪問支援事業の利用者として、地域の関係機関とどのように連携していくかが課題。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4	0		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	1		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	フォロー利用児は懇談会がある。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0	
38		保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	0		
39		保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0		

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	2	該当しないのではないか。 訪問支援で身体拘束の場面はない。	